

四日市版コミュニティスクール報告書（令和元年度総括）

四日市市立桜中学校

校長 森田 定

1 コミュニティスクール（運営協議会）のねらい

本校は、平成28年度に四日市版コミュニティスクール（CS）の指定を受け、「桜中学校運営協議会」が発足しました。本校の学校づくりビジョンの柱のひとつである「家庭と地域等との連携」を推進するための大きな力となっています。

そして、保護者や地域の方々の様々な視点から意見等を本校の教育方針や教育計画の作成に活かし、学校経営の改善を図ることで、地域に信頼される学校づくりを目指しています。

2 コミュニティスクール（運営協議会）の実践について

(1) 教育活動の実践事例

本校の運営協議会は、本年度5回の会議を持ちました。第2回から第4回の計3回は、桜小学校・桜台小学校の運営協議会と合同開催で、各校の取組実践を中学校で共有することで、地域の力を学校運営に活かすことを学びました。また、協議会では、地域にある学校として県立四日市西高等学校にも参加を依頼し、地域ぐるみの連携を強化しています。

平成29年度に「将来住みたくなる桜地区について」というテーマで、地域団体と生徒との懇談会をもちました。懇談後、地域のために何ができるかを考え、「地域理解」と「地域貢献」をCS活動の基本方針としました。そして、3年間の学びのカレンダーを作成して、各学年で取組を行いました。

① フラワーオアシスと矢合川地域清掃

本校近くを流れる矢合川では、地域の老人会などが中心となって、三重県が進める「フラワーオアシス推進事業」を実施しています。この事業は水辺に四季折々の花木を植栽し、住民とともに河川の良い維持とうるおいのある河川空間の形成を図ることを目的に実施されていますが、近年はその担い手が不足していました。そこで平成29年度より3年生がこの事業を支援することになり、学級単位で除草・肥料散布などの作業を行いました。そして6月には、老人会等と協働での植栽作業が行われ、これには全学年から募集した100名ほどが参加しました。



【植栽活動の様子】

② 職場体験学習

本校では、「総合的な学習の時間」を通して、キャリア探求力と進路設計力、課題解決力と目標達成のための実践的能力を高める学習と活動を行っています。2年生は、JOB-Study と称して、キャリア教育を中心に取り組みました。



【職場体験の様子】

実際に社会で活躍されている方々の話を聞き、生き方やエピソードについて学び、地元の事業所の協力を得て行う職業体験学習へとつなげました。

③高齢者との交流

桜地区は、住宅団地の高齢化が進んでいることもあり、高齢者の福祉施設や多数の高齢者サロンがあります。そこで昨年度より、1・2年生が積極的に関わりました。



【1年生の高齢者との交流】

2年生は、職場体験の事業所に地区内のいくつかの高齢者福祉施設で体験をしました。

1年生は、「総合的な学習の時間」をCO-labo(コラボ)と称して、福祉活動を中心に学習しました。桜地区ボランティア協会と四日市市社会福祉協議会の方々にご協力をいただき、福祉講演など地域の方から話を聞く機会を設けました。そして、学級ごとにサロンに出向いて合唱などを披露し、高齢者と交流しました。

④部活動を通しての地域交流

桜中学校は、部活動を通して積極的に地域で活動しています。音楽部は、夏休みに幼稚園と保育園を訪問して演奏会を開き、園児とともに楽しいひと時を過ごしました。美術部は、桜地区の文化祭に出品し、自分たちの活動を地域の方々に見ていただく機会となりました。



【音楽部の保育園での演奏→】

⑤桜地区防災フェスタ

いつ発生するかわからない大災害に備えるために、防災、減災に関心を持ち、実践できるように、11月30日(土)に地区の方々や桜地区防災フェスタが本校を会場に開催されました。1年生は倒壊家屋からの救助訓練と応急手当、非常食の準備について、2年生は避難所運営について、3年生は救助袋降下訓練と放水訓練、土嚢製作と構築について体験学習しました。生徒には訓練を通して、防災意識の向上とともに、防災リーダーとして桜地区の一員として災害に負けない強さを持った人として、地域に貢献できるように成長してほしいと願っています。



【土のう作り】



【放水訓練】



【テント設営】



【避難所運営ゲーム】

また、防災フェスタを通して学校と地域が繋がるとともに、地域の方にも桜中学校を知ってもらう良い機会となりました。

⑥さくら人権大会

2月8日(土)、本年度の桜地区人権・同和教育推進協議会主催の「さくら人権大会」が桜地区市民センターで開催され、桜中学校も参加しました。この大会は、本年度で23回目になる大会で、第一部は本校の他、桜台小学校・桜小学校の6年生、四日市西高校から、人権学習の発表がありました。本校は第2学年の代表者4名が参加し、



【学習成果を発表する生徒】

「2年生で学んだ人権学習」についての内容と「SNSとわたし」「自分が考える共生とは」と題する人権作文を発表しました。二つの発表は、人の気持ちをよく考え、受け入れることの大切さを自分の言葉で表現したすばらしい発表でした。

⑦挨拶運動と下校見守り活動

本校では、定期的に職員による登下校指導に加え、生徒会、室長会、専門委員会による「あいさつ運動」を実施しています。また、「桜地区安全・安心まちづくりの会」の方々による下校見守り活動をしていただいています。生徒が、地域に見守られていることを実感し、自ら進んで挨拶ができることと、桜地区が笑顔であふれ、生徒たちが生徒たちの活動で将来も住みたくなる地区にしていけることを期待しています。



【挨拶運動の様子】

⑧CS活動学習発表会

年度末（2月15日）に全校集会で、各学年から年間のCS活動を発表しました。この集会にCS関係者や保護者を招き、活動について率直な意見をいただきました。この集会で期待される効果としては、生徒は、他の学年の取組を知って刺激を受け、CS活動に向けて意欲を高めることにあります。そして、地域のために何ができるかを考え、「地域理解」と「地域貢献」について、さらに深めていくことを期待しています。また、これは教員にとっても同様であり、さらに今後のCS活動に見通しをもてる契機となっていくと思われま



【ポスターセッションによる発表】

(2) コミュニティスクール（運営協議会）の取組による効果

平成29年度は「本校の課題の明確化に基づいた学校づくりビジョンの改訂」、平成30年度の「地域理解と地域貢献をめざしたコミュニティスクールの活性化」、令和元年度の「教育活動全体を通して豊かな自立性を備えた生徒の育成」を軸に学校運営を展開してきました。CSの活動は活性化して、地域に対する生徒の意識と「社会に開かれた教育課程」に対する教師の意識が高まってきました。それにより、CS活動の取組による成果は、昨年度に引き続いてCS運営委員より高い数値を得ることができました。特に「地域に開かれた学校の推進」は3.6、「コミュニティスクール活動の推進」は3.8と高い評価を得ることができました。（最高評価は4）

また、地域連携を図るため、地域行事を学校だよりなどに掲載して参加を呼びかけました。それにより、フラワーオアシスなど中学生の参加が年々増加し、地域から大変喜ばれました。総合的な学習の時間を通して地域と関わったことで、生徒からも「地域の人が自分たちに期待していることを実感した。」「来年度は、先輩たちがしていたことを、自分たちがするのだ。早く取り組みたい。」という感想が聞かれました。

3 今後に向けて

本校では、このコミュニティスクールを生徒の豊かな成長を促進させるための重要な方策としています。そのために、先進校の取組を参考にしつつ、桜地区に合い、根差した、桜中学校独自のスタイルを確立していくよう努力しています。そして、学校としての課題である学力の向上、不登校の解消、いじめの防止を改善について、地域全体で取り組んでいくことを努力していきたいと考えています。そのためにも、今後も委員のみなさまのご協力をいただきながら、さらに前進させていきたいと考えています。

別紙B

令和元年度四日市版コミュニティスクール活動報告

四日市市立桜中学校

委員長 神田 幹雄

校長 森田 定

月	協議会の開催	活 動 内 容
4		
5	5月15日(水) 第1回学校運営協議会 9:30～(桜中学校)	委嘱式 四日市版コミュニティスクールについて 学校の様子について 令和元年度の活動の重点について 年間計画について 意見交換
6	6月15日(土) 第2回運営協議会 9:30～(桜台小学校)	桜台小学校との合同開催 授業参観 学校の様子について 意見交換
7		
8		
9	9月4日(水) 第3回運営協議会 14:00～(桜小学校)	桜小学校との合同開催 小学生の夏休み作品展見学 夏休みの児童・生徒の様子について 全国学力・学習状況調査の結果について 意見交換
10		
11		
12		
1	1月30日(木) 第4回運営協議会 9:30～(桜中学校)	桜小学校・桜台小学校との合同開催 授業参観 各校より年間活動の報告と総括 意見交換
2	2月15日(土) 第5回運営協議会 9:00～(桜中学校)	学校教育診断結果について 今年度の総括について 来年度の予定について 意見交換 学習発表会の参観
3		